

『 COVID-19 患者の嚥下機能の現況 』

【目的】 COVID-19 感染者では関連した種々の原因により嚥下障害が生じ、またその結果として誤嚥性肺炎が起こりやすいことが懸念されています。しかし、COVID-19 感染時の嚥下機能や、その後の嚥下機能に関しては報告されていません。そこで今回は、COVID-19 病棟入院時と退棟時の嚥下機能評価結果について検証します。

【期間】 研究許可日～2023 年 9 月 18 日

【方法】

＜対象となる患者さん＞

令和 4 年 12 月～令和 5 年 2 月に COVID-19 病棟へ入院し、リハビリテーションを受けた患者

＜研究に用いる試料・情報の種類＞

試料：なし

情報：年齢、性別、身長、体重、BMI、既往歴、入院時の情報(食事形態、介護保険認定状況)、全身状態、改定長谷川式簡易知能評価、嚥下機能検査 等

【試料・情報の管理責任者】

独立行政法人地域医療機能推進機構 星ヶ丘医療センター
院長 細野 昇

◎研究への参加について

この研究の対象者に該当する可能性のある方で、情報を研究目的に利用されることを希望されない場合は、遠慮なく研究責任者にお伝えください。たとえお断りになっても今後の治療において不利益を受けることはありません。

この研究について、心配なことや、わからないことがあれば、いつでも遠慮なく下記連絡先までお問い合わせください。また、ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産権の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申し出ください。

独立行政法人地域医療機能推進機構 星ヶ丘医療センター
〒573-8511 大阪府枚方市星丘 4-8-1
TEL (072) 840-2641 (代)
所属・職名 リハビリテーション部 ・ 理学療法士
研究責任者 中嶋 菜々華